

# 智頭杉の特徴を活かした木製ブラインドの販路拡大と、家具・インテリアのデザイン開発・販売促進



Chikusugi

智頭町は、総面積の9割以上が山林という緑あふれる町。古くから林業が盛んで、350年以上前から価値の高い杉や松を育ててきた。株式会社サカモト代表取締役専務の坂本トヨ子さんは、秋田県出身。昭和49年、結婚を機にこの町に移り住んだ。家業に携わるようになったのは、子育てが一段落してからのことだ。



代表取締役専務 坂本トヨ子

略歴 / 昭和28年生まれ。秋田県立角館南高等学校卒業、虎屋東京赤坂勤務後、昭和49年結婚。平成8年株式会社サカモト代表取締役専務就任。

「建築資材や壁板、ブラインドなど、従来はアルミなどを使っていた製品を智頭杉で作っていました。そこらも順調でしたが、素材中心では価格競争で遅れをとる気がしたんです。それで、杉独自の美しさを出せる家具づくりに着手しました」

## 培ったノウハウを活かして

新しい取り組みに向かう具体的なきっかけはあったのだろうか。「我が家を一軒丸ごと、杉の木を使って建ててみたんですが、既製の家具が家の雰囲気にならなかった。それで自分たちで作ろうと考えたんです。杉が成長するには80年以上、親子何代もかけて大事に育て、検品や加工も心をこめて行っています。この素材があれば、どこにも負けない

いものが作れるんじゃないかと」

実際に家具づくりを始めると、これまで積み重ねてきた杉加工の技術が、想像以上に役に立った。

「ブラインドというのは過酷な環境下にあるんです。外は炎天下なのに中はエアコンで涼しかったり、逆だったり。乾燥具合も地方や住居によって違います。しかもブラインドは、ゆがむとすぐにわかってしまつ。それでも、無垢の一枚板をそのまま使い、科学的な施しをせずに精度を保てる技術が我が社にはあった。例えば、引き出しなどは素材が伸縮すると開かなくなります。そういうことをクリアするのに、これまでの技術がつのるのを感じるのを感じましたね」



## 素材の良さとデザイン性

木目の表情を活かしたテーブルや、角の丸い子ども机、和室に合うパーティションなど、サカモトは暖かみのある商品を次々と開発している。力を入れてきた建築資材としての杉も、新しい形で展開中だ。

「多くの方のアドバイスで、お客様が求めるものを作らなきゃいけないと気づいたんです。素材の良さを訴えるだけでなく、デザイン性も考えたうえで販売戦略を練る必要があります。現在、『ウッディマインド』という壁板が学校や病院で好評です。無垢材を使うのでシックハウス症候群の心配がありません。それから階段材。智頭杉の柔らかさが膝に優しく、年輪を浮き上がらせる仕上げは滑り止めになります。これもちょっと

としたブームで、他はコンクリート製でも階段だけは杉という家が増えました」

## 家具をつくる、家をつくる

企業の商品としてだけでなく、町の財産として杉を知ってもらいたいという思いが、坂本専務にはある。「認定を受けて注目が集まり、信用性もアップしました。素材の良さも浸透してきたので、優れたデザインでもファンを増やしたいですね。家を建てる時、ぜひ智頭杉を取り入れてもらい、部材から家具の需要にも結びつけようと計画しています。近々、カタログを作って全国の設計事務所や工務店に送る予定なんです。あくまでもサカモトは智頭町の一部という位置づけにするつもりです。素晴らしい景色や腕の良い職人など、智頭町の魅力をぜひ皆さんに知ってもらいたい。家具をつくることは『家』をつくること。智頭杉という地域資源とともに、全国に発信していきたいですね」

## 事業概要

杉角材の市場出荷が年々減少する中で、当社は、平成14年国内で初めて杉製のブラインドを開発し、販売を開始した。本事業では、ブラインドの更なる販路の拡大を進めるとともに、智頭杉の木目の美しさを活かした家具・インテリアのデザイン開発並びに商品化を行って、部材供給中心から和の空間（サカモトの部屋）が提供できる企業への転換を目指す。



## 売れる商品づくり

**競争力** 国産の類似商品はないものの、オーストラリア、中国製のもの比べて、意匠性・耐久性ならびに大型化などで優れている。  
**市場性** 天然木の特性と風合いは、人に優しく生活空間に温もりを感じさせるとともに、杉は国内供給が容易であり、循環型資源として今後も期待される。  
**販路** 大手企業との販売チャネルの強化・安定化を図るとともに、BtoCについてはWEBを核にしてメンバーシップ制で行う。

### 地域資源における

#### 関係事業者との連携

デザイン開発・評価試験などについて、鳥取県産業技術センターと連携して取り組む。

## Information



## 株式会社 サカモト

所在地 鳥取県八頭郡智頭町山根 520-1  
TEL 0858-75-0758  
URL <http://www.woodymind.com>  
設立 昭和34年5月1日  
資本金 1,000万円  
従業員数 11人

会社事業内容  
製材業(乾燥JAS認定)  
杉・松の構造材、造作材、建具材、家具材、加工板(ウッディマインド)  
難燃処理 RM-9360  
木製ブラインド製造販売

### 【活用する資源】

## 智頭杉

【地域】 鳥取県智頭町  
【認定日】 平成19年10月12日  
【認定行政庁】 経済産業省、農林水産省



鳥取県